

信州大学医学部附属病院 外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年10月8日

「膵体尾部切除術後膵液瘻リスク因子を用いた膵液瘻発症予測モデルの作成」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4491
研究課題名	膵体尾部切除術後膵液瘻リスク因子を用いた膵液瘻発症予測モデルの作成
所属(診療科等)	外科 消化器・移植・小児外科学分野
研究責任者(職名)	本山博章(助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2019年12月31日
研究の意義、目的	膵疾患に対する膵体尾部切除術をお受けになられた患者さんに対して、膵液瘻発症の危険因子を同定し、それらの項目を用いた膵液瘻発症予測モデルを作成することで、将来同様の手術を受ける患者さんが合併症を発症する可能性が高いか否かを推測することが出来ます。
対象となる患者さん	1997年1月1日から2018年3月31日の期間に当院で膵疾患に対する膵体尾部切除術を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、術後経過など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、膵体尾部切除術後膵液瘻と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 清水明(信州大学外科・講師) 電話: 0263-37-2654

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。